

米代東部の国有林



矢立峠風景林（大館市 尻合沢外3国有林 149 林班）



林野庁 東北森林管理局
米代東部森林管理署

国有林の現況

米代東部森林管理署は、秋田県北東部の米代川流域（米代川森林計画区）のうち、青森県境の白神山地東端から十和田湖を経て岩手県境の八幡平にいたる3市1町の国有林、約101千haを管理しています。

スギなどの人工林の比率は5割、ブナ、ミズナラなどからなる天然林が4割を占めています。この地域では江戸時代から優良な天然秋田スギなど豊富な森林資源を背景に木材産業が発達してきました。

<管内の市町村>

樹海ドームと秋田犬のふるさと「大館市」、八幡平・大湯温泉などの「鹿角市」、森吉山と大太鼓の「北秋田市」、十和田湖と旧鉱山の「小坂町」があります。

森林の取扱い

国有林では、森林の役割に応じて「水源涵養」「山地災害防止」「自然維持」「森林空間利用」「快適環境形成」の5つの機能タイプに分け、森林の管理・経営を行っています。

水源涵養タイプ

草や木の根により、水を蓄える隙間に富んだ
土壌を有する森林

<水源林>

地域住民の生活用水や農業用水を供給する「水源」を確保するため、国有林の9割を「水源かん養保安林」に指定しています。米代川の支流には洪水調節や利水のため、早口ダム（早口川）、山瀬ダム（岩瀬川）、砂子沢ダム（砂子沢）があり、国有林はこれらの水源林となっています。

山地災害防止タイプ

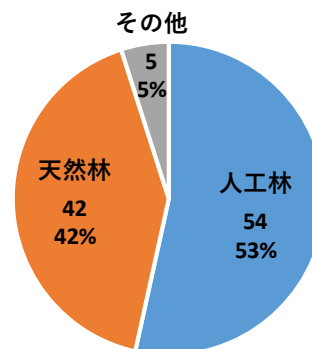
森林の中に適度な光が射し込み、草や木の根が深く広がって土壌を保持する森林。必要により山地災害を防止する施設を整備

<治山事業>

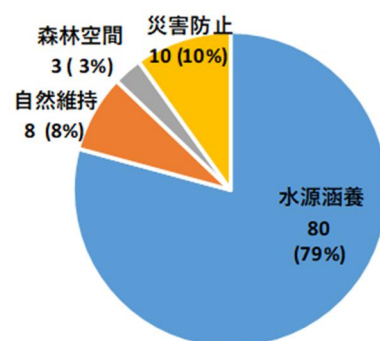
この地域では、十和田湖や八幡平周辺など火山性の地質による泥流・地すべり災害、山間部での集中豪雨による土砂災害の危険があり、地域住民の安全確保のため治山工事や森林整備を行っています。

また明治時代から旧小坂鉱山の煙害で荒廃した山林の緑化に取り組んだ歴史があります。

人天別面積（千ha）



機能類型別面積（千ha）



早口川源流（大館市）



地すべり対策で施工した集水井（鹿角市）



澄川・赤川温泉地すべり災害跡地の現況（鹿角市）

森林空間利用・自然維持タイプ

自然とのふれあいの場として利用したり、自然景観や歴史的風致、原生的な森林生態系、希少な生物がいる森林

十和田八幡平国立公園や田代岳県立自然公園など、森林、湖沼、温泉など豊かな自然を背景とした観光資源にも恵まれ、四季を通じて大勢の皆さんが訪れます。

また森林ボランティア、企業の社会貢献、環境教育の場などとして、国有林が利用されています。



十和田八幡平国立公園（小坂町）

<レクリエーションの森>

国有林では優れた景観を有し、森林浴や自然観察、野外スポーツに適した森林を「レクリエーションの森」に指定しています。八幡平地区のスキー場（鹿角市）、平滝自然観察教育林（大館市）のほか、矢立峠・田代岳（大館市）、竜ヶ森（大館市・北秋田市）などに風景林を設定しています。



秋田八幡平スキー場（鹿角市）



平滝自然観察教育林（大館市）

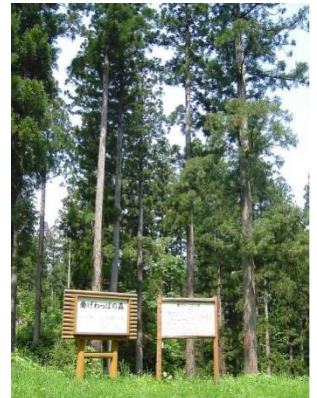
<森林ボランティア>

国民参加の森林づくりの場として、ふれあいの森「テロロの森」（大館市 3ha）を設定しているほか、放牧跡地の緑化（鹿角市上沼）、法人の森「長寿の森」（小坂町）などでボランティア団体等が活動しています。

また木の文化を支える森づくりとして、伝統工芸「大館曲げわっぱ」の資材を育成する「曲げわっぱの森」を設定しています。

<森林環境教育>

大湯小学校の森林教室のほか、保育園等にクリスマスツリー用スギの木を配布して木の大切さを学んでもらう木育教室を行うなど、森林体験活動を取り入れた教育を支援しています。



曲げわっぱの森（大館市）



大湯小学校の森林教室（鹿角市）



保育園等にて木育教室の様子（大館市）

＜貴重な生態系の維持＞

生物多様性の維持も国有林の重要な仕事です。原生的な自然環境の保全や野生動植物の移動経路などを確保するため、白神山地から奥羽山脈から至る延長約 70km、面積 13 千 ha に「緑の回廊」（白神八甲田、八幡平太平山、奥羽山脈）を設定しているほか、「八幡平生物群集保護林」（1,262ha）、「十和田イタヤカエデ遺伝資源希少個体群保護林」等を設定し、モニタリング調査などを行っています。



八幡平生物群集保護林（鹿角市）

森林・林業再生に向けた取組

戦後造成された人工林が利用期を迎えており、路網整備や機械化により、わが国の木材自給率 50%をめざしています。

地球温暖化対策として再生産可能な資源である森林を利用し、木材の安定供給に取り組んでいます。

また、民有林と連携して低コスト化を進める森林施業として「大館市森林整備推進協定」（令和5年3月締結）、採材検討会や「新しい林業」の実現に向けた取組の一環として実施している早生樹試験地箇所などの現地見学会を通じて、地域林業の再生に取り組んでいます。



森林整備推進協定に関する会議



採材検討会（北秋田市）



早生樹試験地の現地見学会（北秋田市）

＜国有林の活用＞

国有林野を活用して、道路、送電幹線（東北電力）、地熱発電所（八幡平）などが建設されています。



日本海沿岸東北道の建設（大館市）



地熱発電所（鹿角市）

令和7年度主要事業量（当初）

伐採量						m ³		
立木販売ほか			製品生産資材			計		
主伐	間伐	計	主伐	間伐	計	主伐	間伐	計
283,817	15,037	298,854	5,577	131,601	137,178	289,394	146,638	436,032

製品（丸太）販売量				m ³
委託販売	システム販売	伝産法	計	
23,010	53,900	90	77,000	

造林量				h a	林道工事		治山工事	
新 植	下 刈	除 伐	除伐Ⅱ類		災害復旧・改良		流路工ほか	
98	341	53	4		3 路線	416m	2 ヶ所	

米代東部森林管理署の沿革

明治14年	農商務省山林局設置
明治19年 5月	林区署官制発布により秋田大林区署のもとに長木沢小林区署として設置
25年 6月	釈迦内小林区署に合併
34年10月	官制改正により釈迦内小林区署は大館小林区署と白沢小林区署に分割
40年 3月	北秋田郡大館町東大館字中道三角に元釈迦内小林区署庁舎を移転増築
大正 3年 9月	白沢小林区署は大館小林区署に合併
13年12月	官制改正により大館営林署と改称
昭和 4年 5月	農林省告示をもって白沢営林署を分割
10年 3月	大館市御成町二丁目9-14に移転
22年 4月	林政統一
45年 3月	大館市御成町二丁目17-10に新築・移転（鉄筋コンクリート3階建）
54年 3月	農林水産省告示をもって白沢営林署を大館営林署に統合し、白沢営林事務所を設置
平成 7年 3月	早口営林署を鷹巣営林署に統合し、森林技術センターを設置
10年 3月	扇田営林署を大館営林署に統合し、扇田森林管理センターを設置
11年 3月	大館営林署・鷹巣営林署を米代東部森林管理署に組織再編し、鷹巣事務所を設置
13年 8月	扇田森林管理センターと鷹巣事務所を米代東部森林管理署に統合
15年 1月	大館市上代野字中岱3-23に新築。
16年 3月	花輪森林管理センターと鹿角事務所を米代東部森林管理署に統合
25年 4月	一般会計による運営がスタート

管内図



「大文字焼き」の鳳凰山と庁舎（平成15年新築）

米代東部森林管理署

〒017-0031 秋田県大館市上代野字中岱 3-23

電話 0186-50-6130

メール: t_yoneshirotoubu@maff.go.jp

<https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/syo/yoneshirotoubu/>



米代東部署HP



東北局HP

〈参考〉

森林の役割に応じて「水源涵養」「山地災害防止」「自然維持」「森林空間利用」「快適環境形成」の5つの機能タイプに分け、森林の管理・経営を行っています。これまでの取組や参考となる資料については下記のリンクからご覧いただけます。

山地災害防止タイプ

[澄川地すべり災害の記録（平成 9 年 5 月 10 日、鹿角市八幡平）](#)

[八幡平ふるさと森林づくり植樹祭（平成 22 年、鹿角市八幡平）](#)

[よみがえった森林（小坂鉱山煙害地復旧の記録、大館市・小坂町）](#)

森林空間利用タイプ

[レクリエーションの森について](#)

[レクリエーションの森一覧](#)

[木の文化を支える森づくり「曲げわっぱの森」](#)

自然維持タイプ

[白神八甲田緑の回廊パンフレット](#)

[保護林と緑の回廊一覧](#)

[矢立針広混交林誘導試験地](#)